



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第45巻第  
9号)

AUTHOR(S):

---

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第45巻第9号). 泌尿器科紀要 1999, 45(9): 676-676

ISSUE DATE:

1999-09

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/114108>

RIGHT:

4. 論文の訂正：査読審査の結果、原稿の訂正を求められた場合は、40日以内に、訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて、前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること、なお、Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 校正：校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
6. 掲載：論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
  - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,500円、英文は6,500円、超過頁は1頁につき7,000円、写真の製版代、凸版、トレース代、別冊、送料などは別に実費を申し受ける。
  - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は30,000円、6頁以上は1頁毎に10,000円を加算した額を申し受ける。
  - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については、掲載料を別途に申し受ける。
7. 別冊：実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

#### Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, key words (no more than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.  
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer · PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details, refer to a recent journal.

#### 編 集 後 記

最近ハワイ島のマウナ ケア (4,205 m) に巨大赤外線望遠鏡「すばる」が取り付けられた。そこで研究しているある天文学者に聞いた話だが、「宇宙のはて」がみえるという。「はて」が見えるのなら、宇宙に大きさがあるといえる。計算すると、宇宙の大きさを地球とするならば、「水素原子一個」の大きさが太陽に匹敵するといふ。だから、宇宙の大きさ：地球＝地球：水素原子×1/100 となる。

「宇宙のはてのその向こうには何があるのですか？」との私の間に、その研究者は、「分かりません。それから先は科学ではなく宗教の世界です」と答えた。

今世紀における分子生物学の進歩は目覚ましい。そして、「すべての生命現象は DNA ゲノムの中に情報化されインプットされている」したがって「精神現象も含めてすべての生命現象は分子レベル、物質レベルで説明できる」と、世の中のことすべてが分かったような錯覚にとらわれやすい。しかし、われわれの身近にある宇宙でも基本的に全く分からないことがあることを思うとき、自然科学の進歩をいたずらに誇ることは愚かに思えてくる。宇宙から見ると水素原子 1/100 の大きさの地球に生を受けた奇跡に、頭をたれるのみである。

(吉田 修)